

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受ける コード	第2に影 響を受ける コード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
第XV章 妊娠、分娩及び産じょく褥(O00-O99)								
	1183	Morbidly adherent placenta 病的付着胎盤	O43	None	内容例示(631)、索引修正(コード)新規コード追加 癒着胎盤、穿通胎盤および嵌入胎盤が分娩中または分娩後に遺残胎盤として問題を引き起こす前の分娩前の病態としての癒着胎盤および嵌入胎盤の分類 「病的な付着胎盤を分類」	○	○	○
	1187	HIV complicating pregnancy, childbirth and the puerperium 妊娠、出産及び産じょく褥に合併するHIV	O98	None	内容例示O98の「除外」の記載変更 コード新設・O98. 7「妊娠、出産及び産じょくに合併するHIV」	○	○	○
	1189	Pre-eclampsia and hypertension in pregnancy 妊娠中の子かん<癩>前症及び高血圧症	O10-O16	None	内容例示(619～)、索引(244)の修正 たんぱく尿を必要条件としない。 O10 O11 O13 O14 コードの項目内容や除外の修正。索引の修正。 子かん前<癩>前症の中等度の削除、修正(軽度と重度のみにする)軽度についてはコード変更O13→O14. 0へ HELLP症候群のコード変更O14. 1→O14. 2(新規コード)へ	△	○	論議継続中
取り下げ	1335	Monochorionic monoamniotic twins, Monochorionic diamniotic twins and Dichorionic diamniotic twins 一絨毛膜一羊膜双胎、一絨毛膜二羊膜双胎、二絨毛膜二羊膜双胎	O30.0	None	内容例示(625頁)の例示の追加及び索引の追加 O300の例示に追加し索引の該当箇所にも追加する。	○	○	×
	1354	Cord around neck, with and without compression 圧迫を伴う、伴わない臍帯頸部巻絡	O69	None	O69-の明確化 「臍帯圧迫その他」はO692orO698?	△	△	○
	1376	Eclamptic coma 子癇性昏睡	O15	R56.8	索引の精度向上のためコードの変更 昏睡 R40.2 -子かん<癩>性R56.8→ <u>O15.9</u> 子かん、子かん性(昏睡)O15.9 -男性 R56.8 削除 索引の引き方でR56.8 O15.9 になる 一貫性が必要ではないか	△	○	○
	1430	Continuing pregnancy following selective reduction 胎児の選択的な墮胎後の妊娠継続	O31	None	新しい疾患を識別するため用語の追加及び新規コードを追加 O31. 1 一胎以上の「自然」流産後の妊娠継続:「自然」を追加 O31. 3 一胎以上の選択的な墮胎(胎児の減少)後の妊娠継続 妊娠 - 下記の後に継続するもの - - 一胎以上の選択的な墮胎O31.3 - - 一胎以上の自然流産O31 を追加 同様のコードにO04(医学的人工流産)があるが、新コードの追加により、すべての胎児の中絶とする	△	△	×
	1432	Postpartum occlusion of precerebral artery 分娩後の脳実質外動脈の閉塞	O99.4	None	分娩後の脳実質外動脈の閉塞のコードをO88. 2→O99. 4に変更 CIM-10ではO99. 4となっている	△	△	×
	1240	Septic shock 敗血症性ショック	R57	A41.9 O08 T80.1 T81.1	内容例示(27, 757)修正、コード変更 「敗血症ショック」のコード変更。 今現在 A419にコードしているが、R57. 2を新設して、そこにコードする。	△	△	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、待越し)
第XVI章 周産期に発生した病態(P00-P96)								
	1155	Edema of brain of fetus or newborn 胎児及び新生児の脳浮腫	P52.4	P91.8	索引(639)の修正(項目、コード) P52.4には「出血」とあり、浮腫とは異なる病態であるため、新生児はP91.8としたい。 また、胎児に当てはまるコードがないため、提案があれば歓迎したい。 浮腫(水腫)性 ー脳 ー胎児(無酸素症又は低酸素症) 新規コード ー胎児又は新生児(無酸素症又は低酸素症) P52.4→P91.8 トリエステ会議においてURCメンバーは、胎児または新生児の脳浮腫の分類をP91.0にすることに同意したが、P91.6を考慮していなかったため、この提案は2008年に持ち越された。	△	△	議論継続中
	1201	Idiopathic neonatal hepatitis 突発性新生児肝炎	P59.2	None	内容例示(672)修正 コードP59. 2のところへ「新生児(突発性)(巨細胞)(中毒性)肝炎」と詳細説明追加	○	○	○
	1259	P95 and validity in mortality statistics 死亡統計におけるP95の有用性	P95	None		△	△	○
	1292	Neonatal Abstinence Syndrome (NAS) 新生児離脱症候群	P96	None	新生児離脱症候群(NAS)はICDコードを使用する病院の疾病率データベースにおいて過少評価されている。特にメタドンを服用する女性が出産した新生児のデータの過少コード化は明白である。第2巻(内容例示)P678の既存コードに「新生児離脱症候群(NAS)」を追記し、表リストの充実を図ることを提案する。	○	○	○
	1361	Chemical absorption through the placenta 胎盤を通しての化学物質の吸収	P04	None	索引の修正 There is a discrepancy in the two indices. <u>どちらが正しいの?</u> 索引 P138 吸収<absorption> ー化学(物質)性 T65. 9 ー胎盤通過(胎児または新生児) P04. 8 ⇒ P04. 9 ー妊娠管理への影響の疑い O35. 8	△	△	○
	1410	Hyperfibrinolysis and hypofibrinogenemia affecting fetus or newborn 胎児又は新生児に影響する線維素溶解亢進症及び低フィブリノゲン血症	P02	None	索引追加訂正 胎児又は新生児に影響する無フィブリノーゲン血症をP038→P021に変更	△	○	○
	1417	Congenital infections 先天性感染症	P35-P39	None	索引の修正(仏CIMとの比較)(93～101頁) クロストリジウム、サルモネラ、レンサ球菌、大腸菌の先天性の感染症のコードが違う。ICDはどれもP398。 CIMはそれぞれP365、P638、P361、P364に分かれる	△	△	×

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1436	Gastroesophageal reflux of the newborn 新生児の逆流性食道炎	P78.8	None	P78.8の例示に新生児の逆流性食道炎を追加 逆流(索引P137) -食道 -新生児 P78.8 -胃食道 --新生児の P78.8 を追加 周産期に発生した病態(索引P274) -新生児の逆流性食道炎 P78.8 -新生児食道性潰瘍 P78.8を追加	○	○	○
	1486	Fetus and newborn affected by prolapsed cord 臍帯脱出による胎児及び新生児への影響	P02.4	None	①Insertion(付着)に -臍帯の外側もしくは卵膜への(胎盤, 異常も参照) O43.1を追加 CIM-10ではO69.4となっている。どちらが正しいのか。 ②胎盤の異常により影響を受けた胎児及び新生児は、ICD-10でP02.2となっているが、CIM-10ではP02.4となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	×	×
第XⅦ章 先天奇形、変形及び染色体異常(Q00-Q99)								
	1284	osteosclerosis congenital 先天性骨硬化症	Q77.4	17	軟骨低形成症や軟骨過形成症(Q774)に関連しない特殊な先天性骨硬化症は学識的に見受けられないため、Q774に「先天性骨硬化症」を追記することを提案する。(第2巻P723)	△	×	×
	1147	Pulmonary vein atresia 肺静脈閉鎖症	Q26.3	Q26.2		△	—	×
	1163	VATER syndrome VATER症候群	Q87.2	Q87.8	内容例示(730)の例示変更、コード変更、索引(13)修正 VATER SYNDROMEは今日ではVATER ASSOCIATIONとして知られるが、これはそれぞれの奇形の間の関連性が症候群ほど強くないということである。VATER associationタイプの奇形のある患者は四肢の奇形が多数にのぼらない。したがってVATERをQ87.2からに移しassociationを追加することを提案する。	△	△	稀な疾患 TAGへ
	1164	Congenital occlusion of ureterovesical orifice 尿管膀胱開口部の先天性閉鎖	Q62.1	Q62.2	内容例示(711)、索引(664)変更、コード変更 尿管膀胱開口部の先天(性)閉鎖は先天性巨大尿管から独立しては存在しないと主張している。尿管膀胱開口部の先天性狭窄の場合はそれだけが存在して巨大尿管がない場合もあり、異なっている。	△	○	論議継続中
	1283	Angelman syndrome アンジェルマン症候群	Q93.5	Q93.6 Q87.8	WHOは、「アンジェルマン症候群」について「その他の染色体部分欠失」(Q935)のコード化を奨励しているが、片方の親ダイソミー又はUBE3A異変により引き起こされることもあるため、「その他の明示された先天奇形症候群、他に分類されないもの」(Q878)にコード化し、微小欠失があれば「有糸分裂前中期のみにみられる欠失」(Q936)にコード化することを提案する。(第2巻P730)	△	○	稀な疾患 TAGへ
	1285	Dandy-Walker ダンディ・ウォーカー	Q03.1	Q04.3	ダンディ・ウォーカー症候群(Q031)は、脳の構造上の奇形-小脳の縮小欠損であり、水頭無脳症を伴わない事例も相当数あるため、Q031から「脳のその他の減形成」(Q043)のコードに変更する旨WHOに奨励したい。(第2巻P680-681)	△	△	稀な疾患 TAGへ
	1353	Flexion deformity of hip 腰部の屈曲変形	Q65.8	Q65.9	先天性股関節部または大腿部変形をQ659→Q658に変更。先天性股関節部屈曲Q658にあわせる。	○	○	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1362	Congenital adhesions of the meninges 髄膜の先天性癒着	Q07	None	索引の修正 The issue is with the codes in the indices. フランスの索引は <u>もっと細かくしてる。</u> 索引 P719, P720 癒着<adhesions>、癒着性(感染後) K66. 0 — 髄膜(脳)(脊髄) G96. 1 —— 先天(性) Q07. 8 Q048, Q068にも分類する	△	○	○
	1401	Congenital hallux valgus 先天性外反母趾	Q66	None	索引の修正(496頁) 先天性外反母趾に当たる索引の修正 中足 — 外反(内転)(先天性) Q666 外転	○	○	○
	1414	Hypoplastic eustachian tube 耳管の低形成	Q16.4	None	索引(511頁)の修正(コード変更) 「耳管の低形成」のコードは何か? ICDではQ178になっているが、仏CIMではQ164になっている。Q164に修正したい。	○	○	○
取り下げ	1437	Pallister-Killian syndrome パリスター・キリアン症候群	Q99.8	None	緩和ケア(Z51. 5) - パリスター・キリアン症候群を追加 第3→疾患に テシュラー・ニコラ症候群 Q99. 8を追加	—	—	×
	1447	Supravalvular pulmonary stenosis 肺動脈弁上狭窄	Q25.6	None	Q25. 6 肺動脈狭窄(症)の例示に肺動脈弁上狭窄を追加 狭窄 - 肺 -- 大動脈(先天性) Q25. 6に(弁上)を追加	○	○	○
	1448	Multicystic kidney disease 多嚢胞性腎疾患	Q61.4	None	Q61. 4に例示及び除外を追加(内容例示P711) 嚢胞及び異形成に項を追加(索引P588～)	△	○	○
	1455	Incomplete segmentation of bone 骨の不完全分割	Q65-Q79	None	骨の不完全分割はICD-10でQ78. 8となっているが、CIM-10ではQ79. 8となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u> (索引P646)	△	△	論議継続中
	1482	Pseudoerosion of the cervix 子宮頸部の偽びらん	Q51.8	None	CIM-10で、子宮頸の偽びらん はQ51. 8となっているが、ICD-10にはない。 ICD-10に追加されるべきか。	△	△	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受ける コード	第2に影 響を受ける コード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1488	Jackson's membrane or veil ジャクソン膜又はベール	Q43	None	索引語の変更 ジャクソン 膜またはベール Q43.3 -膜またはベール Q43.3 -麻痺(症候群) G57.2 を追加	△	△	○
	1258	Urinary tract infection an obvious consequence of osteogenesis imperfecta 骨形成不全症の明らかな結果である尿路感染症	N39.0	Q78.0		△	△	○
第XVIII章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)								
	1240	Septic shock 敗血症性ショック	R57	A41.9 O08 T80.1 T81.1	内容例示(27頁, 757頁)修正、コード変更 「敗血症ショック」のコード変更。 今現在 A41.9にコードしているが、R57. 2を新設して、そこにコードする。	△	△	○
	1347	SIDS codes 乳幼児突然死症候群のコード	R95	None	解剖の有無でコードを分けるのは決定の方向。例示の洗い出しをしたい	△	△	MRGへ
取り下げ	1369	Astereognosis 立体感覚失認	R48.8	R41.3	索引の修正 索引 P736 立体(感)覚消失<立体失認> R41. 3 ⇒ R48. 8	—	—	×
	1371	Vasomotor attack 血管運動発作	R57	R55	血管運動(性)発作はICD-10でR57. 9となっているが、CIM-10ではR55となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	○	△	○
	1381	Abnormal blood cell counts 異常血球数	R72	None	これは、ICD-9-CMからほぼ採用されているが、「異常血球算定」は身体の異常ではないため第XVIII章に分類 にすべきである。D72(白血球遺伝性異常)の「除外:」に「異常白血球分化NOSのうち、減少及び高値」(R72) を追記することを提案する。(※ICD-9-CMから採用の方向)(第2巻P158及び第3巻P596-597)	○	○	○
	1449	Presyncope Presyncope	R42	None	脳の虚血(貧血)による意識の一時的中断の前の病態であるため、新規コードを追加	△	○	○
	1463	Topagnosis 局所認知	R20.8	None		△	△	×
	1478	Edema of Bauhin's valve えん<嚥>下麻痺	R13	G52.1	えん<嚥>下麻痺はICD-10でR13となっているが、CIM-10ではG52. 1となっている。 <u>どちらが正しいのか。</u>	△	×	×
	1376	Eclamptic coma 子癇性昏睡	O15	R56.8	索引の精度向上のためコードの変更 昏睡 R40.2 -子かん<癇>性R56.8→O15.9 子かん, 子かん性(昏睡)O15.9 -男性 R56.8 削除 索引の引き方でR56.8 O15.9 になる 一貫性が必要ではないか	△	○	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
第XIX章 損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)								
	1297	Clarification of classification of postprocedural septicaemia 術後敗血症の分類の明確化	T81.4	None	T81.4、術後の敗血症に曖昧さをなくして明解にするために内容例示の除外の前の注書き追加の提案	△	○	○
○	1320	Thallium タリウム	T60.4	T56	タリウムをT60.4から削除してT56.8に加える提案	○	○	○
○	1326	Fracture of tooth 歯の破折	S02	None	S02のタイトルに「歯の破折」を加えるべきである	○	○	論議継続中
取り下げ	1327	Coding for the intracranial injuries 頭蓋内損傷の分類	S06	総論 (4)	脳挫傷、脳挫滅、外傷性脳内出血の分類を加えてS06の4桁分類の変更を提案。	○	○	外因TAGへ
取り下げ	1328	Detailed coding and classification for asphyxia is required 窒息の細分類が必要	T71	None	窒息の細分化の提案(別紙参照)	○	○	×
取り下げ	1331	carbon monoxide 一酸化中毒	T58	None	内容例示の修正(新規細分作成)858頁及び該当する索引の修正 T58	○	○	×
○	1332	Dislocation of tooth 歯の脱落	S03	None	内容例示(781頁)の修正及び索引の該当箇所修正 「S03」のタイトルに「歯の」と記載する。	○	○	論議継続中
	1377	Complications of orthopedic device 整形外科的器具の合併症	T84	M79.9	索引の修正 索引の精度向上のため、コードの削除と変更。フランス版CIM-10の方が正しいと思われる。 合併症 —整形外科 M79.9 削除 —器具、挿入物または移植片T84.9→ <u>T85.9</u> — <u>整形外科インターンT84.9</u> —機械的T84.3→ <u>T84.4</u> <u>整形外科の機械的合併症 索引と内容例示が不一致</u> <u>索引・・・T84.3 内容例示・・・T84.4</u>	△	○	○
	1379	Cyclobenzaprine シクロベンザプリン	T43	T48.1	シクロベンザプリンは抗うつ剤としてではなく、筋弛緩剤として分類されるべきであり、既存の3桁コードの修正を提案する(第19章T43.0→T48.1,不慮X41→X44,自殺X61→X64,故意か不慮Y11→Y14,治療上Y49.0→Y55.1)。(第3巻P857)	○	○	○
	1389	Encephalopathy described as due to current injury 現在の損傷によると記述された脳症	S06.2	None	脳症(急性)の索引から「新鮮損傷 S06.2」の記述を削除する提案	×	○	○
	1419	Superficial injury of the thumb and finger 母指及び手指の表在損傷	S60.9	None	索引の修正(コード修正)(472頁) 損傷 —表在性 —手指 S608 —拇指 S608 —手首 S609	△	○	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1451	Intracranial injury 頭蓋内損傷	S06	None	内容例示(P783) S06. 0、S06. 1、S06. 2、S06. 8、S06. 9について、例示の追加及び変更、除外の追加 索引:損傷に項を追加(P471)	△	△	論議継続中
	1452	Injury of muscles and tendons of shoulder 肩の筋及び腱の損傷	S46.0	None	説明に「筋」を追加 「腱」を複数形にする(s追加)	△	○	○
	1461	Burns 熱傷	T31	None	注:(P843) T20-T29→T20-25, T29に訂正 眼及び内臓は体表にあてはまらない	○	○	○
	1462	Corrosions 腐食	T32	None	注:(P843) T20-T29→T20-25, T29に訂正 眼及び内臓は体表にあてはまらない	○	○	○
	1465	Trichlorethylene 三塩化エチレン	T53.2	None	第Ⅲ編 薬物及び化学物質の索引表 トリクロロエチレン(三塩化エチレン)及びその下の項 -蒸気 NEC についてコード変更 (索引I885)	○	○	○
	1240	Septic shock 敗血症性ショック	R57	A41.9 O08 T80.1 T81.1	内容例示(27, 757)修正、コード変更 「敗血症ショック」のコード変更。 そこにコードする。 今現在 A419にコードしているが、 R57. 2を新設して、	△	△	○
第XX章 傷病及び死亡の外因(V01-Y98)								
	1094	Fall, collision and derailment (2) 転落、衝突および脱線 (2)	V81.6	V81.5 V82.5 V82.6	内容例示のV816の「除外」の記載変更	△	—	外因TAGへ
	1095	Fall, collision and derailment (1) 転落、衝突および脱線 (1)	V81.5	V81.6 V82.5 V82.6	内容例示のV815の「除外」の記載変更	△	—	外因TAGへ
	1096	Fall, collision and derailment (3) 転落、衝突および脱線 (3)	V82.5	V81.5 V81.6 V82.6	内容例示のV825の「除外」の記載変更	△	—	外因TAGへ
	1097	Fall, collision and derailment (4) 転落、衝突および脱線 (4)	V82.6	V81.5 V81.6 V82.5	内容例示のV826の「除外」の記載変更	△	—	外因TAGへ
	1260	Electrically powered indoor-outdoor conveyance deaths 屋内外兼用電動車の事故死	V09	None		△	△	○
	1263	Lithium treatment and bipolar affective disorder リチウム治療と双極性感情障害	N25.1	Y49.5		△	△	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受ける コード	第2に影 響を受ける コード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
第XXI章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用(Z00-Z99)								
	1338	Unacceptable appearance and (or) parameters of a body, not related to traumatism or diseases 外傷又は疾患に関連しない、受け入れがたい現象及び(又は)身体の特徴	Z55-Z65	None		×	×	×
	1363	Intestinal anastomosis 腸管吻合術	Z98	None	索引の修正 Revise code. (コード変更) 索引 P654 吻合術 — 腸 K63.8 ⇒ Z98.0 — 合併症を伴うもの NEC K91.8 — 尿路がおかされた場合 N99.8	△	○	○
	1434	Fitting and adjustment of orthopedic device 整形外科的器具の調整	Z46	None	歯科矯正のコード(Z51.8)を削除	○	○	○
第XXII章 特殊目的用コード(U00-U99)								
	1251	Ritual or cultural practice as cause of death 死因となる儀式または文化的な行為	22章	None		△	△	○
	1346	ESBL - Extended Spectrum Betalactamases 広スペクトラムβラクタマーゼ	U80	None	新規コードU805(ESBL-産生微生物)追加 抗生物質耐性菌には別に新規カテゴリU83・コードU831(項題と同じ)を追加	△	△	取り下げ
	1467	Agents resistant to antibiotics and other antimicrobials 1467 「抗生物質と他の抗菌物質に対して耐性を示す病原体」	U80-U89	None	U80-U89について U82-U84に新規コードを追加 U89.9に例示を追加(別紙) 感染 - 下記を伴うもの -- 抗菌薬耐性細菌 U89.9の下を項を追加 耐性, 下記に対する - 抗生物質, 細菌の作用によるの下を項を追加。	△	△	議論継続中
その他								
	1237	Dagger and asterisk coding and sequencing 剣と星のコーディング及び連鎖	OTH	総論 (3-1)		△	△	○

日本からの 提案	ID	提案題名	第1に影 響を受け るコード	第2に影 響を受け るコード	提案内容の概要	投票 (第1回 6/30)	投票 (第2回)	WHO最 終決定 (勧告、否決、取 下げ、持越し)
	1291	Classification of bacteria バクテリアの分類	OTH	None	臨床知識の変化を反映する必要から、既存コードに追加、除外などの記載を行い、表リストの充実を図ることを提案する。新しい細菌の分類に対するコメント及び情報を送信願う。	○	○	○
	1368	Additional dagger asterisk combinations for arthropathy 関節症に対する剣印、星印の組み合わせの追加	OTH	None	索引の修正 索引 P107およびP110 関節炎、関節炎(急性)(慢性)(亜急性) M13. 9 —下記によるもの —血友病 NEC D66† M36. 2 * —血液学的傷害 NEC D75. 9† M36. 3 * — hepatitis viral (ウイルス肝炎?) B19. 9† M03. 2 * —白血病(性) NEC(M9800/3) C95. 9† M36. 1 * —真菌症 NEC B49† M01. 6	△	△	○
	1427	Corrections to indexing of neoplasms 新生物の索引の修正	OTH	None	フランスとカナダのレビューによる変更	△	△	×
	1438	Cysts のう嚢<胞>	OTH	None	フランス語と英語のコードの不一致	△	△	○
	1441	Paralysis Index discrepancies 麻痺索引の矛盾	OTH	None	麻痺 --咽頭 --ジフテリアA36. 0に† G99. 8*を追加 麻痺 --ウェーバーの†をI67. 9→I67. 8に変更	△	△	○
	1487	Syphilitic iritis 梅毒性虹彩炎	OTH	None	梅毒性虹彩炎は、ICD-10でA51. 4† H22. 0*となっているが、CIM-10ではA50. 3† H22. 0*となっている。ICD-9-CMとICD-10は同じため、CIM-10を変更すべきか。	△	○	○
	1249	Gastric haemorrhage an obvious consequence of steroid therapy ステロイド治療の明らかな結果である胃出血	VOL2-4-1	None	総論の変更 出血は抗血液凝固薬の中毒又は過量摂取の直接影響によるものであり、中毒または過量摂取の記載がなくとも抗血液凝固薬治療が直接影響を及ぼすとは見做さない。胃出血についても、ステロイド、アスピリン及び非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)の明白な結果である。従って、罹患率と死亡データ収集の完全性に影響を与えないルールとガイドラインの変更を提案する。(第1巻(P60)ルール3)	×	△	○
	1248	Rule A inclusion of I46.1 I46.1を含むルールA	I46.1	総論 (4-1)	ルール変更 ルールAの不明確な診断名の中に心臓性突然死(I46. 1)を追加する	△	△	○
取り下げ	1327	Coding for the intracranial injuries 頭蓋内損傷の分類	S06	総論 (4)	脳挫傷、脳挫滅、外傷性脳内出血の分類を加えてS06の4桁分類の変更を提案。	○	○	外因TAGへ
追加	1471	Birth damage and mental retardation 出産損傷と精神遅滞	総論 (4-1)	None	ルール 3の変更 精神遅滞は、P00-P04, P05, P07, P10, P10, P11.0, P11.1, P11.2, P11.9, P15.9, P20, P21, P35, P37, P52, P57, P90, P91における周産期の状態の明らかな影響によるものと考えらるべきである。	△	△	○
追加	1489	External cause of Injury matrix 損傷の外因のマトリックス	総論 (4-1)	None	WHO-FICレイキャビック会議で議論された損傷の外因のマトリックス図をあらためて、URCの議論の遡上に載せることにした。このマトリックスは国際比較をするのに役立つものと考えられる。	○	○	○